

高橋はじめ通信

NO.25

2026. 冬号

かけはし



■事務所 〒875-0041 臼杵市大字臼杵72番地の47

TEL・FAX 0972-83-5911 E-mail hazime.ast8@gmail.com

2026年が皆さまにとって、よき1年となりますように！

新しい年の幕開けです。皆さま、どうお過ごしでしょうか。

昨年は、大分市佐賀関で大規模な火災が起き、多くの方が生活の基盤を失いました。改めて、お見舞い申し上げます。一刻も早く復旧復興できますよう心からお祈り申し上げるとともに、微力ながら私も力を尽くしてまいります。

物価だけはどんどん上がり、私たちの生活を圧迫し続けています。一刻も早く有効で実効的な物価高対策を講じる必要があります。国や県や市町村と連携しながら、生活と命を守る政治をめざします。2026年が、皆さまにとってよい1年となりますように願っております。



2025年第4回県議会定例会



2025年11月26日から12月12日までの第4回県議会定例会が開会されました(会期17日間)。今回は、県の「森林環境税」の適用期間延長や職員給与に関する条例の一部改正案などと、物価高対策を中心とした一般会計補正予算案など24議案を審議し、原案通り可決しました。

また今回は、大分市佐賀関の大規模火災をうけ、緊急に『大分市佐賀関の大規模火災からの復旧・復興に向けた支援を求める意見書案』を採択。被災者へ1日も早い救済と、被災地域の復旧・復興に向けた措置を講じるよう国に求めました。

一般会計12月補正予算について

国の経済対策を踏まえ、物価高騰の影響を受ける生活者・事業者への支援や災害に強い県土づくりなど、早急に対応が必要な経費を計上。また、2025年度の給与改定に伴う給与費を補正するもの。

【補正概要】

- 補正予算……………221億7924万4千円
(うち事業費 187億8583万2千円)
(うち人件費 33億9341万2千円)
- 累 計……………7361億646万8千円

【主な補正事業の内容】

○物価高騰対策プレミアム商品券支援事業

……………27億2100万円

物価高騰の影響を受ける生活者の家計負担を軽減するため、市町村と連携し、プレミアム商品券を発行する商工会・商工会議所等に対し支援する。

- ・プレミアム率…30%(県20%、市町村10%)
- ・発行規模…150億円程度
(市町村による上乗せ含む)

○LPGガス等価格激変緩和対策事業

……………8億3100万円

エネルギー価格の高騰により影響を受けるLPGガスの一般消費者等や特別高圧契約で受電する中小企業等に対し支援する。

- ・LPGガス…1,866円/契約
- ・特別高圧…1～2月:2.3円/kwh、
3月:0.8円/kwh

○県産食材県内消費拡大緊急対策事業

……………8845万8千円

県産食材の認知度向上と県内消費拡大を図るため、食材費高騰の影響を受けている学校給食での県産農林水産物の購入経費を助成するとともに、出前講座等を実施(3回)。

○国土強靱化対策公共事業(土木建築部関係)

……………119億9087万2千円

河川護岸の改修や砂防施設の整備、緊急輸送道路の整備等に集中的に取り組む。

○国土強靱化対策公共事業(農林水産部関係)

……………29億9950万2千円

ため池の耐震化や農業水利施設の長寿命化、治山ダムの建設等に集中的に取り組む。

森林環境保全のための県民税の特例に関する条例の一部改正

引き続き森林を守り育てる取り組みを薦めるため、森林環境税に関わる適用期間を延長するもの。

1 改正理由

県民税の均等割に係る超過課税（大分県森林環境税）について、令和7年度までが適用期間となっているが、引き続き、森林環境の保全や森林をすべての県民で守り育てる意識を醸成する施策を行う必要があることから、適用期間の延長を行うもの。

2 主な改正内容

県民税（個人・法人）の均等割について適用期間を5年間延長する。

第2条 個人の県民税の均等割

現行 平成18年度から**令和7年度**
↓
延長案 平成18年度から**令和12年度**

第3条 法人の県民税の均等割

現行 平成18年4月1日から**令和8年3月31日**までの間に開始する各事業年度
↓
延長案 平成18年4月1日から**令和13年3月31日**までの間の開始する各事業年度

【参考】現行の制度

①税率の特例

- ・個人：均等割額に500円を加算
- ・法人：均等割額の5%（資本金等の額に応じ年額1,000円～40,000円を加算）

②年間税収額

3.4億円（令和6年度決算額）

③導入状況

本県は平成18年度から導入。
全国では、37府県・1市で導入済み。九州・沖縄では、沖縄県を除く全県で導入済み。

（税率の区分）

		均等割額	県森林環境税	合計
個人の 県民税	—	1,000円	500円	1,500円
	1千万円以下	20,000円	1,000円	21,000円
法人の 県民税	1千万円超 1億円以下	50,000円	2,500円	52,500円
	1億円超 10億円以下	130,000円	6,500円	136,500円
	10億円超 50億円以下	540,000円	27,000円	567,000円
	50億円超	800,000円	40,000円	840,000円

3 施行期日

公布の日

4 その他

国の森林環境税と名称が同じことによる混同を防ぐため、令和8年4月1日から県の森林環境税の名称を「おおいた森づくり税」に変更する。

現行 大分県森林環境税 → **変更後** おおいた森づくり税

大分県立工科短期大学校の設置及び管理に関する条例の一部改正

県内企業における若手人材の育成や在職者のリ・スキリングを推進するため、
県立工科短期大学校に聴講生制度を導入するもの。

1 県内企業の人材育成に関する現状・課題

- 人手不足が深刻化する中、高校卒業生の採用が顕著となっており、入社後のOJTが一層重要となるものの、中小企業では指導者の確保が十分でないことから、職場外での研修ニーズが高まっている。
- また、業務の転換や先端技術の活用による生産性向上が求められており、新たな人材の確保が難しい中、社員のリ・スキリングの重要性が増している。
- 他方、県立工科短期大学校では、これまで一般学生の授業を充実させることを最優先としてきたものの、近年、入学定員を充足していない状況もあり、受講スペースに余裕が生じている。

【県内ものづくり企業の声】

- 人手不足のため、文系・理系、経験を問わず採用しているが、指導者を確保できない。
- 新たな分野への挑戦にあたり、社員の技術が不足する部分について、工科短大の授業を受講できるとよい。
- 働きながら学ぶには専門課程の2年は長く、セミナーは2・3日程度のため内容が限定されている。

2 聴講生制度の導入

<聴講生制度の概要>

- 必要な科目を選択し、専門課程の学生と同じ授業を受講できる制度（熊本、長野など5県の職業能力開発短期大学校で同制度を設けている）
- 入学資格：高校卒業者と同等の学力を有し、県内事業所に勤務する者（内定者含む）※県内に本社がある県外事業所勤務の者も可
- 在学期間：1年（2年まで延長可能）※履修単位数の制限なし

訓練課程	対象者	訓練概要
専門課程 （一般学生） 2年	高校卒業者等	幅広い分野において、基礎から応用までの知識・技能を体系的に習得 （例）CADを用いた製図方法の習得 → 部品製造における金型の設計・製作
研究生 1年（2年まで延長可）	希望者 （専門課程の卒業者等）	特定分野について、教員の指導のもと研究 （例）電気制御エンジニアとして必須のプログラミング言語Pythonの応用・演習
聴講生 1年（2年まで延長可）	企業在职者※	特定科目について、通年で、働きながら、基礎から応用までの知識・技能を体系的に習得

※別途在職者向けの短期セミナー（2・3日程度）あり

3 使用料及び手数料の設定

附則により使用料条例を改正

- 聴講料は、専門課程の授業料を卒業に必要な単位数で割り戻した1単位あたりの金額で設定（他県の職業能力開発短期大学校と同等）
390,000円×2年÷173単位＝4,508円 → 4,500円
- 入学検査料及び入学料については、入学手続きや受講期間が類似している研究生と同額で設定

	区分	単位	金額
使用料	聴講料	1単位	4,500円
	入学検査料	1人	4,900円
手数料	入学料	県内在住の者	1人 28,200円
		県外在住の者	1人 42,200円

4 聴講生に係る事務（スケジュール）

- 2月・8月の年2回募集を行い、入学検査（書類審査・面接）を経て、4月・10月に入学
- 初年度は、令和8年2月に募集を開始することから、条例の施行日は公布の日（12月下旬）とする。

※資料は、農林水産部・総務部より提供

県外調査に行ってきました！

会派県外調査(11月4日～7日 愛知県・富山県・長野県)

【愛知県農業総合試験場】

愛知県の農業従事者が、今後20年で約4分の1に激減することや、気候変動やカーボンニュートラルなどの課題解決に向けて、「あいち農業イノベーションプログラム」を設立し、次世代農業の継続に向けた取り組みを調査しました。



【富山県のウエルビーイング関連施策】

富山県が推進する「ウエルビーイング関連施策」について調査しました。ウエルビーイングとは、「心も体も総じてよい状態」のことを指すそうです。富山県の取り組みは、大分県でも参考になるものでした。



【長野県千曲市観光事業】

戸倉上山田温泉地は、古い温泉街のイメージ一新をめざし、新しい観光アイデアと持続可能な取り組みを目指しています。千曲市は「2024年世界の持続可能な観光地TOP100選」にも選ばれました。観光県の大分も見習うべき点が多くありました。



福祉保健生活環境委員会県外調査(11月11日～13日 栃木県・神奈川県)



【一般社団法人えんがお】

「えんがお」は、子どもから高齢者、そして障害の有無に関わらず全ての人が日常的に関わる「ごちゃまぜ」の力で、あらゆる社会課題の予防と解消を目指しています。地域の「空き家」を活用して高齢者と子育て世代等が交流し、持続可能な地域活動を行っていました。



【神奈川県動物愛護センター】

保健所に保護された犬猫を、「処分するための施設」から「生かすための施設」へ向かい歩んでいました。運営資金など、多くの課題もあるということでしたが、『人と動物がともに幸せに暮らせる社会の実現』に向けた心温まる活動は、おおいに参考になりました。

は じ め の 活 動 日 誌

10月

- 4日 新型防災ヘリコプター内覧会(県央空港)
- 7日 12月議会一般質問打ち合わせ会
- 22日 学校教職員との意見交換会(臼杵北中)
- 23日 夜間中学「学びヶ丘中学校」体験教室参加(爽風館高校)
- 28日 学校教職員との意見交換会(上北小・下ノ江小)
- 30日 学校教職員との意見交換会(福良ヶ丘小)



11月

- 4~7日 会派県外調査(愛知・富山・長野)
- 9日 被団協ノーベル平和賞受賞記念講演にて
三田村さん山西さんと意見交換(大山文化センター)(写真)
- 11~13日 福祉保健生活環境委員会県外調査(栃木県・神奈川県)
- 14日 学校教職員との意見交換会(南野津小)
- 18日 学校教職員との意見交換会(臼杵小・臼杵東中)
- 21日 退職教職員の会との意見交換会(県教育会館)
- 25日 学校教職員との意見交換会(臼杵支援)
- 26日 第4回定例会開会(~12/12)
- 27日 学校教職員との意見交換会(川登小)
- 28日 学校教職員との意見交換会(市浜小)



12月

- 1日 学校教職員との意見交換会(佐志生小)
- 2日 学校教職員との意見交換会(臼杵西中)
- 14日 第2回おしゃべりひろばにて市民の皆さんと意見交換(臼杵市社会福祉センター)

たけやま

新しい年の始まりです。新年には「今年はいい年になりますように」と祈るのですが、1年を振り返ると「また今年も、災害が多い年だったなあ」と思っています。昨年(2019年)の11月18日に発生した「大分市佐賀関の大規模火災」。残念ながら、おひとりの方が亡くなりまして。180棟以上の家屋が焼失するという、前代未聞の災害でした。ご自宅を失くされて年越しをされた被災者の皆さまは、さぞかし大変な思いをされているでしょう。臼杵も一昨年の秋、八町大路の町並みの一部が火災で失われました。1年近くかけて八町大路火災復興連携協議が、災害に強いまちづくりをめざす復興方針とイメージ図が示されました。復興実現に向け、市民みんなで取り組んでまいりましょう。今年(2020年)は「午(うま)年」。それも「丙午(ひのえうま)」だとか。「丙」とは「火」を表わすので、くれぐれも災害に結びつくことがないよう願っています。それより馬のように元気に動き回る1年でありますように。



ホームページにご意見、ご要望などお寄せください

最新の議会情報に会報「かけはし」や様々な調査等々、掲載しています。皆様からのご意見やご要望なども受け付けています。よろしくお願いいたします。

【ホームページアドレス】
<https://hajime-takahashi.jp/>
二次元コードはこちら↓



【県民クラブHPはこちら】
<https://kenmin-club.com/>
二次元コードはこちら↓

